



いますぐに取り組みたい実践題材集

ええこと★いっぱい



未来をにう子どもたちへ

日本文教出版

日文の実践事例、教科情報

詳しくはWebへ!

日文

検索

発刊によせて

平成20年に学習指導要領が改訂され、各学校では、年間指導計画を編成・作成し、それに則り、併せて新しい教科書などを活用しながら実践がなされています。私たちは、学習目標に即し、学年の発達や実態に応じて、図画工作科としての資質や能力を高めながら、子どもが進んで取り組める魅力的な題材を実践してきました。その中から再度検討し、効果的な題材を、実践題材集「ええこと☆いっぱい」としてまとめました。

魅力的な題材集にするために、題材の条件を満たすことと指導展開の見やすさを重視しました。

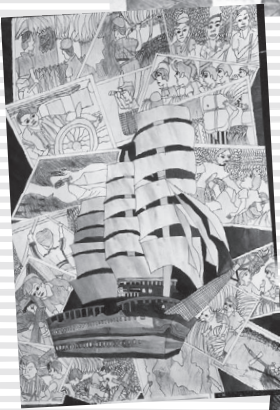
題材の条件を、①題材に新鮮さがある、②経験したことを生かせる、③活動そのものが楽しい、④表現に多様性・発展性がある、⑤思いやイメージが広がる、⑥動きにおもしろさがある、⑦題材の連続化が図れる、⑧鑑賞する力を高める、⑨基礎・基本的な事柄が身に付くなどと設定し、これらの条件を満たすように心掛けました。

また、指導の展開の見やすさについては、必要内容を題材の目標、評価の観点、授業の流れ、準備するもの（教師と子ども）、指導のポイントに絞り、子どもの作品、掲示物（学習指導材）や学習（アイデア）カードなどは、写真やイラストで紹介することにしました。

子どもは、自分の思いや願い、意図をもとに、主体的に判断して選んだ色や形、材料や用具、造形環境などと深く関わりながら表現活動に取り組みます。このような活動ができる授業を構成することによって、豊かな想像力・構想力、造形感覚、創造的な技能、感じ方や見方を含む鑑賞力などの資質や能力を伸ばすことができます。

子ども一人一人が、意欲的に取り組み、自らのよさや造形力を十分に発揮しながら、豊かな表現力で「つくり出す喜び」を実感できるように、また本冊子が、多くの方々の参考となり、さらに内容が改善・工夫され、子どもたちにとって「新たな造形的な表現活動」ができることを願っています。

執筆者代表 長谷川辰夫



6年「『十五少年漂流記』より」

もくじ

評価規準例 の略号	関	造形への関心・意欲・態度
	想	発想や構想の能力
	技	創造的な技能
	鑑	鑑賞の能力

1年生

立体に表す みんなあつまれ〇〇ランド …………… p. 2

工作に表す みてみて！〇〇のすてきなぼうし ……… p. 4

2年生

造形遊びをする どんどんつなごう …………… p. 6

絵に表す ようこそ！くらやみのパーティーへ …… p. 8

立体に表す 森の中でかくれんぼ …………… p.10

3年生

工作に表す 大切な人へのスペシャル弁当 …………… p.12

工作に表す 動け！ゴムの力でトコトコ …………… p.14

4年生

立体に表す くにゃっとハウス …………… p.16

鑑賞をする すてきな名画との出会い …………… p.18

工作に表す 仮面カーニバルへ行こう！ …………… p.20

5年生

絵に表す 墨色の世界へ …………… p.22

6年生

立体に表す わたしは、ねんどのマジシャンだ ……… p.24

鑑賞する
絵に表す 表現にこめた思い …………… p.26

立体に表す 12年後のわたし …………… p.28

絵に表す マイ・ランドセル、ありがとう！ ……… p.30

1年生
4時間

立体に表す

みんなあつまれ〇〇ランド



材料・用具など

いろいろな大きさの空き箱、空き容器、段ボール板、かざりに使う毛糸、サインペン、木工用接着剤など



評価規準の例

- 関** 空き箱をもとに見立てることを楽しもうとしている。
- 想** 空き箱や容器を組み合わせたたり、並べたりしながら自分のつくりたいもののイメージをふくらませる。
- 技** 身近な材料や用具を用いて、空き箱や容器の組み合わせ方を工夫している。
- 鑑** 自分の感じたことを話しながら、作品の形や色、イメージなどに気付いている。

リボンで舌をつくっていておもしろいな



見立て

箱や容器を並べてみよう。何に見えるかな

途中鑑賞



児童作品



授業の流れ

であい（導入）20～30分

ひろがり（展開）90～120分

児童の活動

- ・箱の大きさや形の違いをもとに、段ボール板の上で並べたり、組み合わせたりしながら、形が何に見えるか試し、表したいものを考える。

- ・自分のつくりたいもののイメージに合わせて「楽しい仲間」になるように箱の組み合わせ方や接着の仕方を工夫する。

教師の言葉の例

- ・ここにどんな「楽しい仲間」がいそうかな。
- ・積み上げるのではなく、今回は並べたり、少し重ねたりするよ。何に見えてきたかな。

- ・箱や容器の並べ方を変えると、どんな感じになるかな。
- ・毛糸、モール、リボンなどを使って、目を付けたリ、服を着せておしゃれにしても楽しいね。

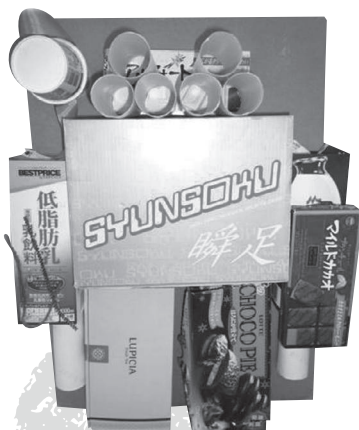


題材の目標

集めた材料の形や色を生かして組み合わせ、工夫して表す。



女の子のみつこちゃん



さむらいロボ

「楽しい仲間」
を連れ出してか
ざろう



指導のポイント

- ・「であい」の場面では、できた作品を飾れる場所に連れて行き、自分たちだけのランドをつくり、そこに住んでいる「楽しい仲間」をつくることを知らせて興味付けをし、イメージをふくらませられるようにする。
- ・材料コーナーを設置し、子どもが、空き箱や容器を自由に選んで工夫できるようにする。
- ・「ふりかえり」の場面では、導入で連れて行った場所に作品を置き、その場所の飾り付けなどをしたり、「楽しい仲間」がいる中で、ハンカチ落としや歌を歌うなどをしたりして、触れ合う機会をつくることで楽しみながら達成感が味わえるようにする。
- ・他学年や先生方を招待し、感想を書いてもらうことで、次の表現への意欲を高めさせる。

ふりかえり 25～30分

- ・作品を飾る場所に置き、鑑賞する。
- ・他学年の児童や先生方も招待して自分の作品について紹介し、感想を書いてもらう。

- ・自分がどんな仲間をつくったのか、紹介文を書いてみよう。
- ・工夫したところやがんばったところなどを発表しよう。



「楽しい仲間」と
一緒に遊んだよ。

1年生
4時間

工作に表す

みてみて！〇〇のすてきなぼうし



材料・用具など

工作用紙，色画用紙，紙テープ，お花紙，折り紙，はさみ，のり，パンチ



評価規準の例

関 自分が考えたすてきな帽子をつくることを楽しもうとしている。

発 つくりたい帽子を楽しく発想し，楽しい感じになるようにつくり方を考えている。

創 表現したいことに合わせて，いろいろな材料や用具を使い，表し方を工夫してつくっている。

鑑 自分たちの作品について，話したり聞いたりして，よさや工夫に気付いている。

1ねんのみなさんへ

こんにちは。

わたしのなまえは，ミリー。

おはなしをよんでくれてありがとう。

わたしのすてきなぼうしはどうだった？

こんどパーティーをするの。みんなもじぶんだけのすてきなぼうしをかぶってパーティーにきてね。

ミリーより

板書例



紙の操作を紹介しています。



授業の流れ

であい（導入）20～25分

ひろがり（展開）130～140分

児童の活動

- ・絵本「ミリーのすてきなぼうし」の読み聞かせの後，ミリーからの手紙を聞く。

- ・自分に合った帽子の土台をつくる。
- ・紙の操作（切る，丸める，つなげる，ねじる，折る，編むなど）を工夫し飾りを付ける。
- ・友人や自分のよいところを発表する。

教師の言葉の例

- ・ミリーからお手紙が来たよ。
- ・すてきな帽子をつくってパーティーしよう。

- ・クジャクの帽子ならこの形がすてきだね。
- ・丸めた紙をつなげてみるとどうなるかな。
- ・帽子をかぶってみよう。どんな工夫をしているかな。



題材の目標

自分だけのすてきな帽子を楽しく発想し、思いに合わせて紙の操作を工夫しながらつくる。



リボンいっぱいの帽子

お花の帽子



指導のポイント

- ・自分なりの方法で、思いのままにつくることを楽しめるよう、「ミリーのすてきなぼうし」（作／きたむらさとし B.L出版）の挿絵を効果的に見せる。ケーキの帽子、クジャクの帽子など、自分のイメージに合うものを想像できるようにする。
- ・飾りを付ける段階では、いろいろな素材、紙の操作の紹介、正しいのりの接着、接合、正しい用具の使用方法についての支援をする。
- ・製作の途中で鑑賞する際、実際に帽子をかぶって見せ合うことで、いろいろなつぶやきが見られる。
- ・時間に余裕があればファッションショーをして、よさを認め合えるようにする。

楽しくかざろう！



ふりかえり 20～25分

- ・自分のつくった帽子をかぶってパーティーをする。
- ・友人の工夫しているところやおもしろさを見つけ合う。
- ・ワークシートに感想を書く。

- ・がんばったところを発表しよう。
- ・〇〇さんの紙テープをカールしているところがきれいだね。
- ・友人に伝えたいことを書こう。

発表の様子



帽子をかぶって、がんばったところを発表したよ。

2年生
2時間

造形遊びをする

どんどんつなごう！ ～しんぶんしやチラシをつかって～



材料・用具など

新聞紙，チラシ，セロハンテープ，クラフトテープ，はさみ，脚立，机，椅子，跳び箱，コーン，自由に活動できる場所（ホールなど）

どんどんつないでいこう！

切った紙はぜんぶつなぐ

紙の上にのらない

ちぎりやすい

ちぎりにくい

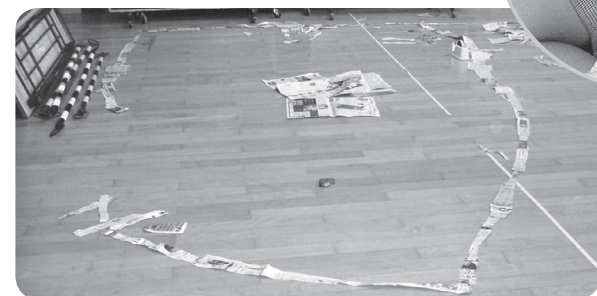


評価規準の例

- 関** どんどんつなぐ楽しさを全身で感じて，取り組もうとしている。
- 発** 自分の思いを広げようとしている。
- 創** 紙の切り方やつなぎ方を工夫している。
- 鑑** 材料を切ったりつないだりすることによって変化した形のおもしろさに気付いている。



つなぎ方もくふうしよう



授業の流れ

であい（導入）10分

児童の活動

- ・新聞紙やチラシを使って，丸めたり，ねじったり，ちぎったりできることを確認する。
- ・紙にはちぎりやすい方向があることを知る。
- ・紙を切ってつないでいくことを知る。

教師の言葉の例

- ・新聞紙にはちぎりやすい方向があるね。
- ・今日はどんどん新聞紙をちぎって，ちぎった新聞紙をどんどんつないでいきましょう。

ひろがり（展開）70分

- ・自分の思いのままに，ちぎってつないでいく。
- ・ちぎった紙は，すべてつないでいくことを確認する。
- ・脚立や机，椅子などを利用し，空間を自由に使うてつないでいく。
- ・ちぎった新聞紙を全部つないでいこう。
- ・セロハンテープでつなぐと，どんどんつなぐことができるね。
- ・友人とつないで長くしていくと楽しいよ。
- ・壁や机につないでいくと楽しいね。
- ・まきつけても楽しそうだね。



題材の目標

体全体を動かせながら、紙の切り方やつなぎ方を工夫して、みんなでつくる。

こんなかたちに
ちぎれたよ

机の上にものばしたよ。



脚立にも
ぐるぐる
巻きちゃおう。

ふりかえり 10分

- ・自分や友人のつなぎ方などのおもしろさや美しさについて話し合う。
- ・楽しかったことを発表する。

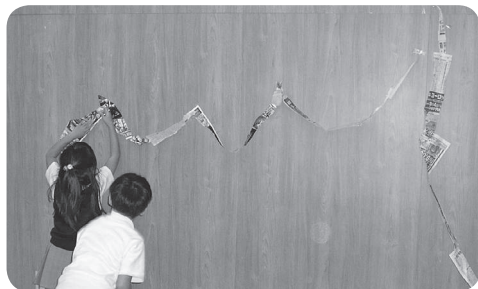
-
- ・新聞紙のつなぎ方で好きなところや、お気に入りのつなぎ方はあるかな。
 - ・どんな活動が楽しかったかな。



指導のポイント

- ・これは新聞紙やチラシをどんどんちぎって、どんどんつないでいく造形遊びで、子どもの主体的な活動を引き出し、思いのまま活動する楽しさや喜びを存分に味わうことのできる題材である。また、普段の教室の活動では体験できない、大きな空間で活動することによって、さらなる活動意欲を引き出すことができる。
- ・紙をちぎる感覚を楽しみ、また、ちぎった紙をつないでいく活動を通して、「もっと楽しくつないでみたい」と、つなぎ方を工夫したり、つないでできてる形をイメージしたりして、いろいろと試しながらつくっていくことができる。
- ・活動途中では、つないでいった様子を確認して、試しながらつくり変え、友人の表現を見ては、新たなつなぎ方を思い付いてつくり出すなど、体全体の感覚を働かすことができるように配慮する。
- ・子どもたちが自由に広い空間を楽しむように、ホールに跳び箱や、コーン、脚立、机、椅子、平均台などを置いたりして、場の設定を工夫する。それらのものに、つないだ紙をまきつけていたり、壁を使ったりして、空間を意識して活動を広げていくことができるようにする。

どんどんつるして、壁にもつるしたよ。



2年生
5時間

絵に表す

ようこそ！くらやみのパーティーへ



材料・用具など

画用紙、絵の具、筆、洗濯のり、水性版画インク、版画ローラー、綿棒、爪楊枝、割り箸、新聞紙、段ボール紙など

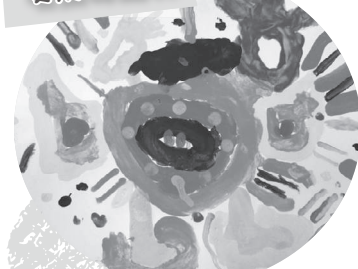


評価規準の例

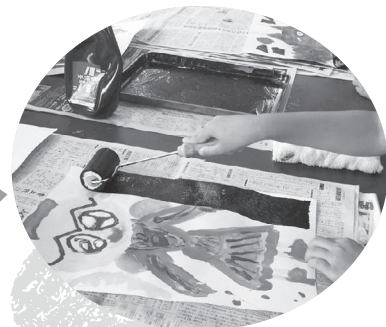
- 関** 黒い画面から浮かび上がってくる絵に興味を持ち、楽しもうとしている。
- 想** お話の世界を自由に思いえがき、彩色やデザインなどを楽しく構想している。
- 技** 材料や道具のよさを生かして、自分の思いに合ったものを選び、表現を工夫して表している。
- 鑑** 自分や友人の作品に関心を持ち、作品について話したり聞いたりして、互いの表現のよさを味わっている。

パーティが楽しくなるように、お菓子やケーキ、ジュースもかきました

授業の流れ



のり絵の具でおばけを描き



水性版画インクで黒くして



授業の流れ

であい（導入）25分

ひろがり（展開）170分

児童の活動

- ・ おばけランドの王子からの招待状を読み、くらやみのパーティーに行くための変装を考える。

- ・ のり絵の具を使い、その感触を楽しみながら、表現方法を工夫して自分がイメージしたおばけをかく。
- ・ 水性版画インクで黒くした後、洗い流す。

教師の言葉の例

- ・ ぜひ行ってみたいね。
- ・ どんな服を着て行きたいかな。
- ・ どんなおばけに変身してみたいかな。

- ・ いろいろな道具を使ってみよう。手のひらや指を使ってもいいね。真っ黒になってドキドキするね。
- ・ 段ボールの上にのせて、やぶれないように二人で協力して洗おう。
- ・ みんな、くらやみのパーティーへ行けそうだね。



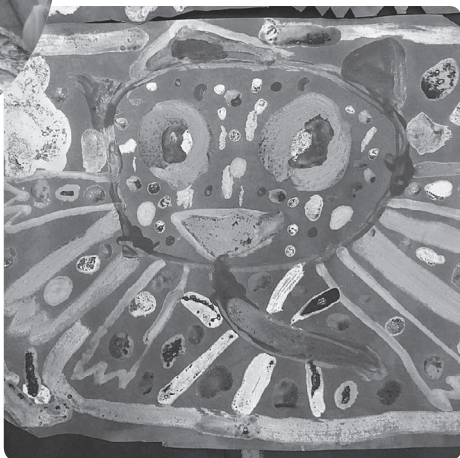
題材の目標

のり絵の具の感触を楽しみ、いろいろな表現方法を味わいながら、イメージを膨らませて表す。



水で洗い流すと

おばけが浮き上がってきます



カラフル水玉くん

わたしのおばけの工夫しているところやおもしろいところを聞いてね



指導のポイント

- ・題材に入る前から、おばけや魔法の世界などに関する本の読み聞かせを行い、興味を持てるような時間を十分にとる。
- ・「であい」では、おばけランドの王子から招待状が来たことを伝え、子どもの意欲をかき立て、題材へスムーズに入れるように工夫する。
- ・下描きはせず、子ども一人一人の自由な発想をのびのび試すことができるように、のびのよいのり絵の具を使用し、手や指で、その感触を楽しむ時間を十分確保する。
- ・絵をインクで一度黒くすることでくらやみのパーティーへ出かけるという気持ちを高める。
- ・作品を1枚の大きな画用紙に並べ、パーティー会場に見立てて鑑賞することで、お互いの作品のよさやみんなでつくったという一体感を味わえるよう工夫する。



鑑賞の様子



ふりかえり 30分

- ・自分の作品に名前を付け、パーティー会場にその作品を展示してお互いの作品に対しての感想を話し合う。

- ・自分の作品の見てほしいところを伝えよう。
- ・友人の作品の工夫しているところや、よいところを話し合おう。

2年生
5時間

立体に表す

森の中でかくれんぼ ～あたらしいなかま みいつけた～



材料・用具など

自然材（木ぎれ・どんぐり・まつぼっくり・たね・すすきなど）、木へん、接着剤、ホットボンド、麻ひも、のこぎり、はさみ、きり、ビニタイ、紙やすり、テープ、洗濯ばさみ



評価規準の例

関 身近にある自然材の形や色に興味を持ち、立体に表す活動を楽しもうとしている。

想 集めた材料の特徴を生かし、組み合わせながら自分のつくりたいもののイメージをふくらませている。

技 材料から思いついたことをもとに、どんなものをつくるか想像しながら工夫して表している。

鑑 材料のおもしろさやよさを感じている。また、自分や友人の作品について話したり、見たり、聞いたりして表現のよさやおもしろさを感じている。

①材料との出会い



いっぱいあるね。

好きなものを見つけ遊ぶ。



森の香りがするよ。

③つくる



洗濯ばさみでとめておこう。



ボンドでくっつけよう。



おしゃれにかざり付け



授業の流れ

であい（導入）30分

ひろがり（展開）170分

児童の活動

・材料と出会い、自然材を使って遊び、ビデオレターにより学習活動を知る。

・材料を選び、自由に組み合わせながら、自分のイメージに合ったものをつくる。

教師の言葉の例

・「森の博士」と一緒にかくれんぼする仲間をつくろう。
・どんな仲間をつくりたいのかな。
・見つからないようにつくろうね。

・色々な材料を使ってみよう。
・名前や特徴を考えながらつくろう。
・かくれんぼした時に、見つからないように工夫しよう。



題材の目標

自然材の形や色・感触などとともに、季節を感じる自然材のおもしろさを楽しみ、自分の考えや感覚を大切にしていこう。

②ビデオレターを見る

森の博士からのメッセージ

みなさん、こんにちは。
わしの名前は、森のはかせじや。
わしは今までたくさんの森で遊んできた
んじやが、今度は〇〇〇の森であそびた
いとおもっておじやました。今、なかま
と三人でかくれんぼしておるんじやが、
三人ではおもしろくないのう。そこで
一緒にかくれんぼしてくれるなかまをみ
んなにつくってほしくて、おねがいし
たのじや。みんなでかくれんぼし
ましょ。ゆかいななかまをつくっておくれ。
かくれんぼ大会たのしみしておるぞ。
森のはかせより

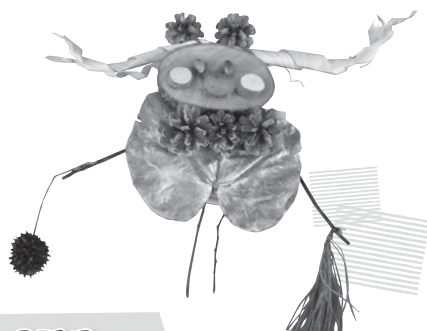


④完成作品



指導のポイント

- ・日常生活の中で、自然に触れ合う機会が少ない場合、遠足などの時に自然材を集めるようにする。
- ・「であい」の時に自然材と触れ合う時間を十分にとる。
- ・「であい」の場面では、ビデオレターの中に、森の写真などを取りこみ、森の中でかくれんぼするイメージをふくらませる。そして、森の博士とその仲間が登場することで、子どもたちが自然材でつくるものの手がかりになる。
- ・つくりは始める前から、展示場所に森の博士を置いておくことで、「自分もいつしよにかくれんぼしたい」という意欲をかき立てる。
- ・子どもたちは、接着する時につまづくことが多いので、洗濯ばさみなどで仮止めをしたり、強力な接着剤などを用意したりする。



ふりかえり 25分

- ・つくった作品を自分の思いに合った場所にかくすようにする。
- ・自分の作品の特徴や友人の作品のおもしろさなどを発表する。

- ・色々な場所に置きながら、かくれる場所を探そう。
- ・木の間や落ち葉にかくれさせてもおもしろいね。
- ・かくれんぼがじょうずなのは、だれかな。

⑤作品を場所にもっていきかくす。



3年生
5時間

工作に表す

大切な人へのスペシャル弁当



材料・用具など

紙粘土、色画用紙、お花紙、色セロハン、アルミホイル、弁当箱となる箱、水彩絵の具一式、はさみ、彫塑用へら、抜き型



評価規準の例

関 大切な人への思いを込めて、その人にふさわしい内容の弁当をつくることを楽しもうとしている。

想 材料の材質・形や色から感じたり、想像したりして、表したいものを思い付いている。

技 材料の特徴を生かした使い方を工夫して表している。

鑑 友人と作品について話し合いながら、大切な人への思いや材料の扱い方、表し方のよさを感じ取っている。



ラブラブ弁当



授業の流れ

であい（導入）45分

ひろがり（展開）135分

児童の活動

- ・ 家族や友人など、自分のまわりの大切な人へのスペシャル弁当を、紙粘土や紙などでつくことを知る。

教師の言葉の例

- ・ 自分の大切な人が喜んでくれるように、特別な弁当をつくろう。
- ・ 誰のためにつくるかを考えて、その人にふさわしい中身にしよう。

- ・ 紙粘土、水彩絵の具、画用紙、お花紙など、いろいろな材料や用具を活用して、喜んでもらえるスペシャル弁当をつくる。
- ・ 自分がつくったスペシャル弁当の特徴を、簡潔にわかりやすくクラスの友人に発表する。

- ・ どんな材料でどのように工夫するとおいしそうに見えるか、考えてつくろう。
- ・ 弁当の箱も飾って、さらにスペシャルな弁当にしよう。



題材の目標

大切な人への思いを込めて、栄養バランスも考え、形や色を工夫しながら、紙粘土や紙などの材料でスペシャル弁当をつくる。

ゆうくん；食べてね弁当
すきなもののいっぱい
入れたよ。



指導のポイント

- ・栄養教諭から栄養バランスのよい食事の大切さを学び、食生活と健康の関係や日本の食文化についても関心を持つ。
- ・大切な人のための「スペシャル弁当」を、その人にふさわしいメニューを考えて、心を込めてつくる。
- ・料理の本や雑誌などで、弁当づくりに必要な資料を自分で集めて参考にする。
- ・つくりたいものは、どの材料でどのようにするのがよいか考えて、おいしそうにつくれるように工夫する。
- ・紙粘土に水彩絵の具を混ぜて、つくりたい物の色粘土をつくる。色画用紙やお花紙・色セロハンなどをつくりたいものに合わせて工夫して使う。
- ・弁当箱にも飾りをして、さらにスペシャルな弁当にする。
- ・自分がつくった弁当の特徴をわかりやすく伝えるために、新聞をつくって発表する。

何を入れようかな。

どんな材料でつくとおいしそうかな。



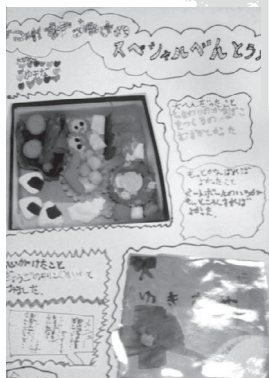
ふりかえり 45分

- ・スペシャル弁当新聞をつくる（心がけたこと・苦労したこと・よかったことなどを書き、スペシャル弁当の写真を貼る）。
- ・スペシャル弁当について、作品や新聞をもとに、友人と交流し合う。

- ・自分がつくった弁当の感想を、栄養教諭の先生や家族に聞いてみよう。

スペシャル弁当 新壁

どんな弁当なのか、新聞にして発表し合おう。
☆栄養教諭さんや家族にも感想を聞いてみよう。



3年生
5時間

工作に表す

動け！ゴムの力でトコトコ



材料・用具など

単1乾電池、空き容器、色画用紙、色紙、100～120cmに切った糸、幅5mm程の太い輪ゴム、ゼムクリップ、プルトップ、身辺材、はさみ、のり、油性マジック、カッターナイフ、化学接着剤、粘着テープ、セロハンテープ



評価規準の例

関 理科で学習したゴム動力で動く仕組みに関心を持ち、楽しいおもちゃをつくることに取り組もうとしている。

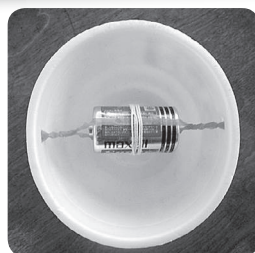
発 どんなふうに動くと楽しいかを自由に発想し、動くおもちゃの形や色・飾り方を考えている。

技 ゴムの力を利用した仕組みが動くように取り付け方を考え、工夫してつくっている。

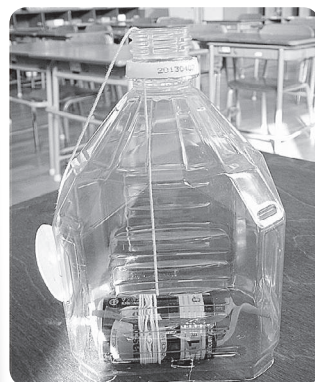
鑑 作品を動かして遊び、工夫した点などを友人と話し合い、よさを感じ取っている。

② どうして動くのかな？

- ① かん電池にひもをまいて振る。
- ② ひもを引っ張る。
- ③ かん電池がガリガリ回って、ゴムがねじれる。
- ④ ひもをはなす。
- ⑤ ゴムもとの形にもどろうとする。
- ⑥ かん電池がガリガリ回る。
- ⑦ カップが動く。



透明な容器で乾電池やゴムが動く様子をよ～く観察してみよう！



親子でトコトコ。足のはやいかメさん。



授業の流れ

であい（導入）20～45分

ひろがり（展開）90～135分

児童の活動

- ・例示の動くおもちゃを見て、活動内容を知る。
- ・例示の動くおもちゃに触れながら、動く仕組みを理解する。
- ・アイデアを絵にして構想を練る。

教師の言葉の例

- ・みんなでおまじないをかけると、動くよ！せ～の、動け～!!
- ・何の力で動いているのかな？ひもを引っばった力が、どんなふうに伝わっていくのかな？どんなものが動くと、おもしろいかな？

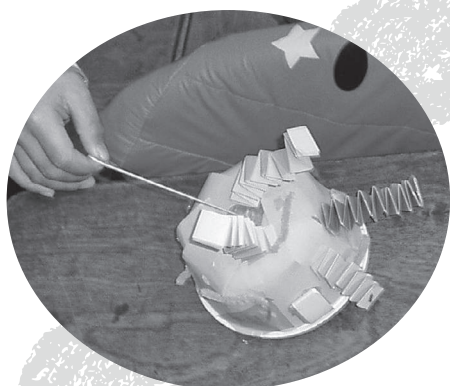
- ・ゴム動力で動く仕組みをつくる。
- ・動きに合った飾り付けをする。

- ・うまく乾電池が回るようにするには どうしたらよいかな？
- ・動きに合った飾り付けをしよう！どっちをカメさんの頭にするのか？動きに合わせて、飾りがゆれるのがおもしろいね。

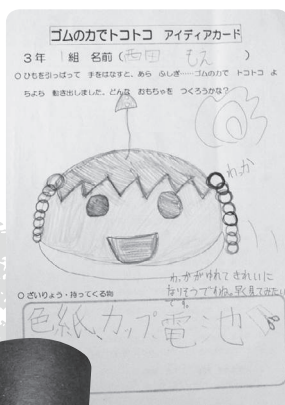


題材の目標

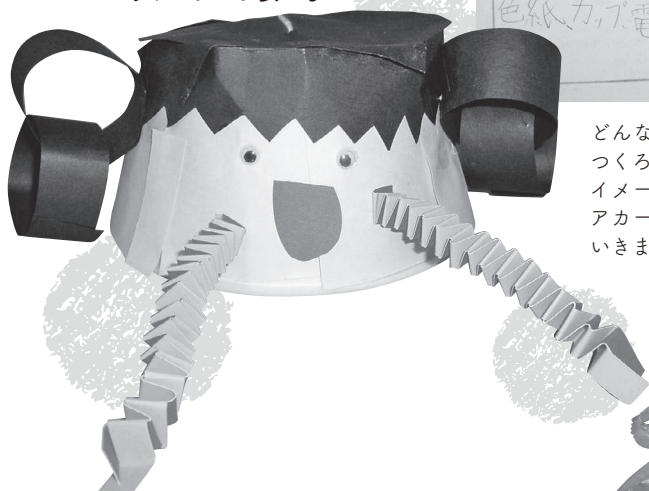
動く仕組みを使って、形や色を考えながら思いに合ったおもちゃをつくる。



ひもをひっぱると
おもしろい動きを
するよ



ほっぺがボヨヨ〜ン、
三つあみユラユラ女の子



どんなおもちゃを
つくろうかな？
イメージをアイデ
アカードに書いて
いきました。



指導のポイント

- ・題材に取り組む前までに必要な材料を予告して集めておく。
- ・丸いカップ容器を集めるのは難しいので、事前に家庭に連絡して協力をお願いしておくとうい。
- ・糸の巻き方やゴムの取り付け方やその手順は、教師が自らつくると、子どもにも伝わりやすい。
- ・予め、たこ糸を必要な長さに切っておいたり、飾り付けに用いる紙を加工しやすい大きさに切っておいたりしておく、子どもたちの活動が停滞しなくなる。
- ・仕組みをつくるまでに動くおもちゃに触れる時間をとる。
- ・容器が一つのタイプと容器二つをつなげたタイプがあると、発想が広がやすい。
- ・動く仕組みをわかりやすく伝えるために、ゴムの力の伝わり方を示した掲示物や、動く仕組みをつくる手順を見やすく提示する。

ふりかえり 25～45分

- ・つくった作品で遊び、紹介し合う。
- ・作品名を考えて、工夫したところや見てほしいところをカードに書く。

.....

・おもちゃの動き方にピッタリなネーミングだね！



4年生
4時間

立体に表す

くになっとハウス



材料・用具など

黄ボール紙、ペットボトル容器、画用紙、はさみ、水、たらい、のり、木工用ボンド、洗濯ばさみ、カラーペン、水彩絵の具一式

手順



アブラカタブラ

乾かす



評価規準の例

関 黄ボール紙を水に濡らして変形させることに興味を持ち、好きな形をつくることを楽しもうとしている。

想 紙を折ったり曲げたりしてイメージを広げ、立体に表すように形を考えている。

技 濡らした紙の特徴を生かしながら、折ったり曲げたりして立体的な形を工夫して表している。

鑑 自分や友人の表現の仕方や形のおもしろさなどを感じ取っている。

おさかなハウス

階段ハウス



授業の流れ

であい（導入）20分

ひろがり（展開）140分

児童の活動

・黄ボール紙を濡らしたり乾かししたりして、立体的な作品をつくることを知る。

・たらいにはった水で黄ボール紙を濡らし、くになくに紙で形をつくって乾かす（1週間）。

教師の言葉の例

・黄ボール紙を水で濡らすと、くになくに紙になるよ。
・くになくに紙は乾くと固まってしまうよ。
・くになくに紙で、世界に一つの「くになくとハウス」をつくってみよう。

・一人ずつ順番にたらいの水で黄ボール紙を濡らそう。
・くになくに紙を立体にするには、ペットボトルなどを中に入れたり支えにしたりするといいよ。



題材の目標

水で軟らかくした黄ボール紙を折ったり曲げたりして、思いに合った立体的な形を工夫して表す。



おにぎりハウス

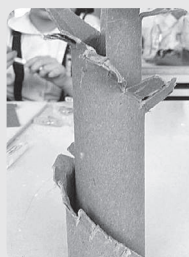
木のあなハウス



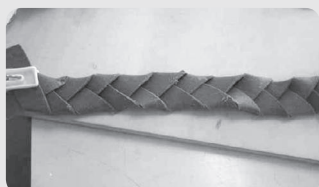
指導のポイント

- ・「であい」で、水に濡らして軟らかくなった黄ボール紙を提示し、材料への興味を高める。たらいの中で水に濡らす方法を、指導者が「アブラカタブラ」と3回唱えながら演示することは、水に濡らす時間を感覚的にとらえることもでき、効果的である。
- ・乾いて堅くなった立体を数種類、実際に見せることで、平面が立体になることのイメージをつかませる。
- ・くにくにくに紙を大きく変形させて立体にするだけではなく、編む・裂く・ひっかく・筒にして広げるなどの新しい表現を試みることにより、水に濡らした紙の特性も十分に感じ取ることができる。
- ・「くにくくとハウス」のイメージを「家」から広げ、遊び場や迷路などという思いでつくることも認める。くにくにくに紙からできた立体をさらに自分なりの感じ方であらえて自由に表現する中で、その子らしさやよさが発揮できる。

操作イロイロ



まるめて



編んで



剥いで



傷を付けて



手で裂いて



広げて

ふりかえり 20分

- ・ほかの材料を使ってつくり足したり、もようを付けたりしながら、思いに合った「くにくくとハウス」をつくる。

- ・自分の作品に合った作品名を付ける。
- ・自分や友人の作品を鑑賞し、よさなどを話し合う。

- ・思いどおりの形ができたなら、洗濯ばさみなどで固定しておこう。
- ・紙が乾いたら、さらにつくり足していこう。

- ・自分の作品への思いを名前にして作品に付けよう。
- ・自分や友人の作品を見て、よい形やおもしろい形を見つけよう。
- ・友人がなぜその作品名を付けたのか、考えながら鑑賞しよう。

4年生
2時間

鑑賞する

すてきな名画との出会い



材料・用具など

探検バック、筆記用具、バインダー、ワークシート



評価規準の例

関 名画に出会い、自分の思いを言葉で表すことを楽しもうとしている。

鑑 名画を見て、気付いたことや感じたことを話し合い、作品のよさや作品に対する自分の思いや広がりを感じ取っている。



この絵と同じことをしてみよう。
なかなか難しいぞ。

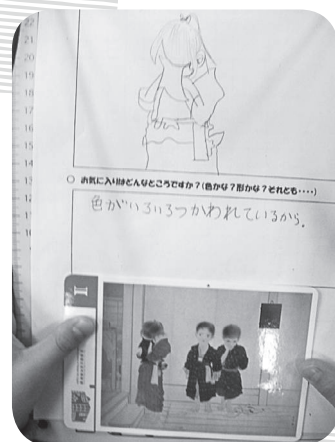


青い服を着た女の人がバルコニーに立っているよ。なんだかとても悲しそうな感じがしたよ。



教室では、アートカードが活用できる。

教室での鑑賞



授業の流れ

美術館での鑑賞 70分

児童の活動

- ・学習のねらいと美術館での鑑賞のきまりを聞く。
- ・自由鑑賞をする。
- ・鑑賞活動を終えて、発見したことや、感じたことなどを話し合う。

- ・作品「戦後の大阪」についてギャラリートークをする。〔児童・教師・学芸員〕
- ・再度、自由鑑賞し、自分の「名画」を1点見つけ、選んだ理由をワークシートに書く。

教師の言葉の例

- ・「展示されている作品は宝物です。これからずっと大切にしなければならぬのです」（学芸員）
- ・絵にはいろんな秘密が隠されているので、発見してみよう。

- ・自分が選ぶ名画を見つけよう。選んだ理由もワークシートに書こう。
- ・自分の選んだ名画について発表しよう。同じ作品でも選んだ理由が違っていいよ。



題材の目標

名画と対話したり、友人や学芸員と話をしたりすることにより、美術作品のよさや美しさ、表し方などに関心を持って見る。



私が選んだ名画です。おだやかな色合いが大好きです。

私は、あい光さんの花(アネモネ)の選びました。アネモネを見て、とても美しくきれいだと思います。アネモネをかいたあい光さんは、戦争中にこの絵をかいたと書いてありました。空を見ると茶色でした。たぶん戦争中の空だと思います。でも、アネモネを見るとくじけてはいませんでした。力強く、嘘ひとつない美しさがとても好きです。

A児のワークシートより



指導のポイント

- ・子どもたちが美術館で本物を目にした時、描かれている対象そのものだけでなく、その迫力に驚いたり、展示方法の違いに気づいたりする。美術館は写真では実感できない鑑賞になる。
- ・名画を前にして、子ども・教師・学芸員で行うギャラリートークの時間を設ける。一つの作品について子どもたちが見つけたことや感じたことを発表し、友人の考えを知り、さらに学芸員に質問することで、作品にはさまざまな見方、感じ方があることに気付くことができる。
- ・作品を見ることから生まれるいろいろな気付きや思いを、自分が感じられるようにするために、気付いたことをメモできるワークシートを活用すると効果的である。

アートカードは「国立国際美術館提供」
掲載作品は「大阪新美術館建設準備室所蔵作品」

ふりかえり 20分

- ・美術館での活動を振り返り、ワークシートに、自分の選んだ「名画の理由」を整理して書く。

- ・作品を見て、感じたことを友人に伝えるように書こう。
- ・それぞれのワークシートを通して、本物の作品に出会えた感動が伝わってきたね。

4年生
6時間

工作に表す

仮面カーニバルへ行こう！

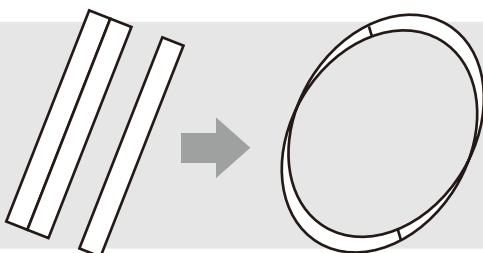


材料・用具など

方眼厚紙、和紙、新聞紙、ビニルテープ、折り紙、はぎれ、毛糸、ビーズ、リボン、はさみ、のり、木工用ボンド、水彩絵の具一式、ホチキス、ニス、はけなど

はいこの技法
を使って

方眼厚紙を
テープ状に切る



評価規準の例

関 はりこの技法を使って、自分の表し方で表現することを楽しもうとしている。

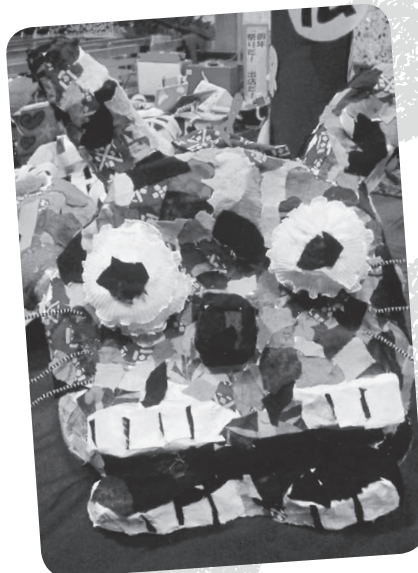
想 自分を守ってくれるような仮面を楽しく発想し、自分らしい表現を豊かに構想している。

技 表したいことに合わせて材料を選び、表し方を工夫している。

鑑 自分や友人の作品に関心や親しみをもち、仮面の形や色のおもしろさ、表現の工夫などをとらえている。

ビニルテープを
仮面の周りに付けて、
フサフサにしたよ。

でこぼこした
ダイナミックな
仮面ができた！



おに

ギョロギョロした目が
おもしろいでしょう。

鉄仮面



授業の流れ

であい（導入）20分

ひろがり（展開）225分

児童の活動

・仮面の持つ機能について考えたり、世界にはいろいろな仮面があることを知り、自分の表現したいものを考える。

・仮面になる土台をつくる。（45分）
・はりこの技法を使って、仮面の骨組みをつくる。（90分）

教師の言葉の例

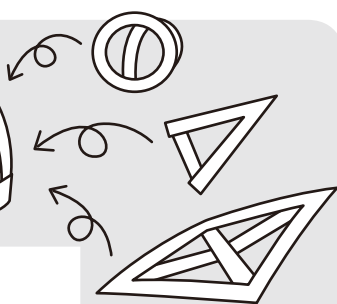
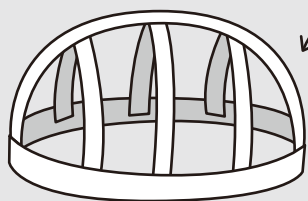
・節分や祭りなどの行事のときによく見かけるね。
・飛び出させたりくぼませたりするだけで、いろいろな表情ができて楽しいね。

・目玉を飛び出させたら、愉快的顔になるね。
・髪の毛を毛糸で表現したり、色を付けるだけでなくはぎれをはってもおもしろいね。



題材の目標

はりこの技法を使って、自分を守ってくれるような仮面を楽しく発想し、自分らしい表現を豊かに構想してつくる。

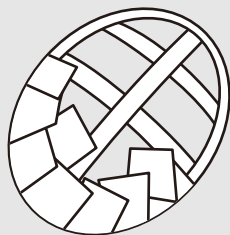


ライオン丸

布やリボンを
はり付けて
かざってみたよ。



新聞紙をはり重ねる



和紙をはり重ねる



彩色したり
布をはったりする



指導のポイント

- ・仮面という顔に付けられるものと考えがちだが、ここでは顔に付けられることにこだわらず自由に形や大きさを考えてよいことや、目が飛び出していたり、鼻がへこんでいたり立体的な部分でも自由な発想で表現できるようにする。
- ・学習指導材としては、「ふくらませたり、へこませたりするには、どのようにして骨組みを組み立てるのか」がわかるように、半分だけ新聞紙と和紙をはったものを試作品として用意したり、製作順序が見てわかるような学習指導材を掲示したりして、子どもが見通しを持って製作できるようにする。
- ・彩色や飾り付けをする時は、児童が思いに合った材料を選べるように、はぎれやリボン・毛糸などを並べ、見た目や手触りからイメージが広げられるようにする。
- ・製作途中に鑑賞の場を適宜設け、互いに情報交換し合ったり、認め合ったりしながら、次への表現意欲が高まるように支援する。
- ・製作中の子どものつぶやきや学習カードなどを効果的に活用して、自分の思いが表現できるように支援する。

ふりかえり 25分

- ・彩色したり飾りを付けたり、ニスを塗るなどして自分の思いに合った仮面をつくる。(90分)

- ・自分の作品に合った作品名を付ける。
- ・自分や友人の作品を鑑賞しながら、よさなどを話し合う。

- ・新聞紙や和紙の隅々までのりを付けていこう。
- ・新聞紙が見えないように和紙を重ねていこう。
- ・ふちの部分は和紙が裏に回るようにすると、仕上がりがきれいだね。

- ・材料の使い方や表し方のよさ、工夫してるところなどを友人と話し合おう。

5年生
2時間

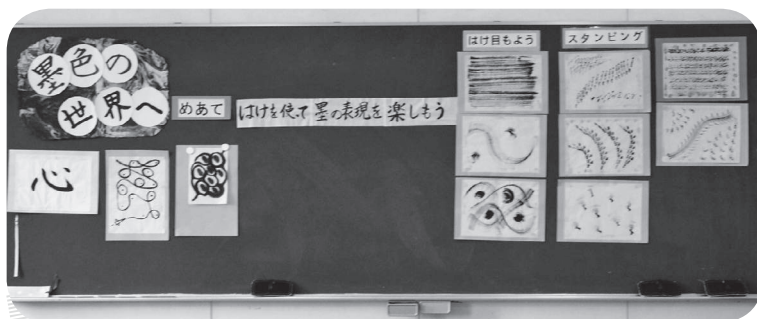
絵に表す

墨色の世界へ



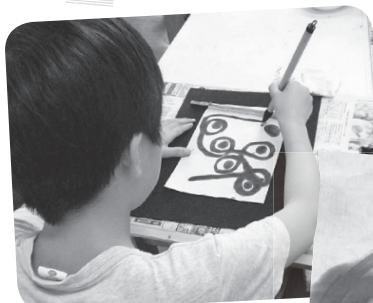
材料・用具など

大きさの異なる数種類の和紙、段ボール紙、大きさの異なる刷毛、液体墨、皿（刷毛目を整える）、新聞紙、ペーパータオル、雑巾、すずり、墨、習字の筆、文鎮、水入れ、筆ふき用の布など

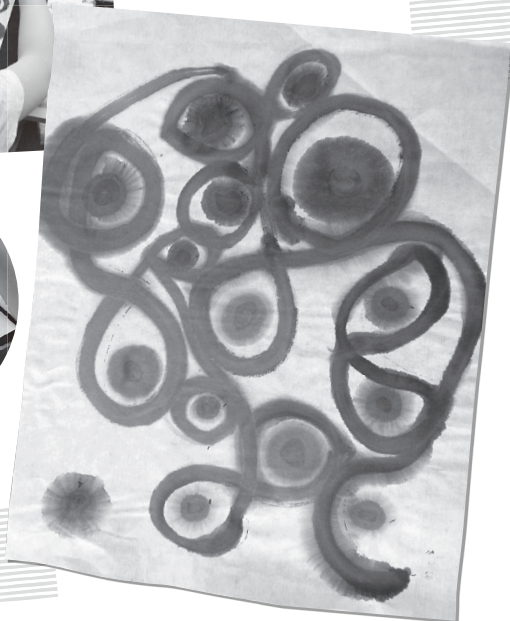


評価規準の例

- 関** 墨の特性（にじみ・ぼかし・濃淡など）を生かし、楽しく絵に表わそうとしている。
- 発** 墨で描いたいろいろな線や模様からイメージを広げている。
- 想** 筆や用具を活用しながら表し方を工夫している。
- 鑑** 自分や友人の表現のよさを見つけ、感じたことや思ったことを話し合い、墨の美しさや表し方のよさをとらえている。



大筆を使ってドローイングをしたら、うちゅうのたまごになったよ。



授業の流れ

であい（導入）15分

ひろがり（展開）60分

児童の活動

- ・墨の濃淡を感じとりながら筆を自由に動かして試して表現する。〔ドローイング〕
- ・刷毛を使っていろいろな線や模様ができることを試しながら基本の操作を知る。

- ・自分なりに考えた方法により、自由に墨を使って墨色の世界を絵で表現する。

教師の言葉の例

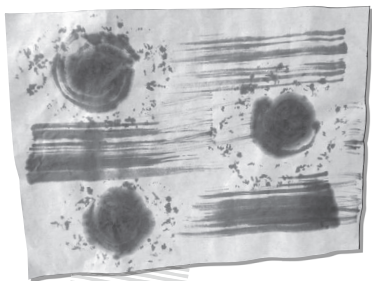
- ・書写の時間に使っている墨で気持ちを込めてすろう。
- ・墨の色は、水加減で薄くなったり濃くなったりするよ。
- ・筆や刷毛を自由に動かしながら墨の色をよく見よう。

- ・刷毛目の線を生かしたり、刷毛の先を軽くトントンとスタンピングしながら表現したりして、墨色の世界を広げることもできるね。



題材の目標

墨の特性を生かし、いろいろな線や模様づくりを楽しんで絵に表す。



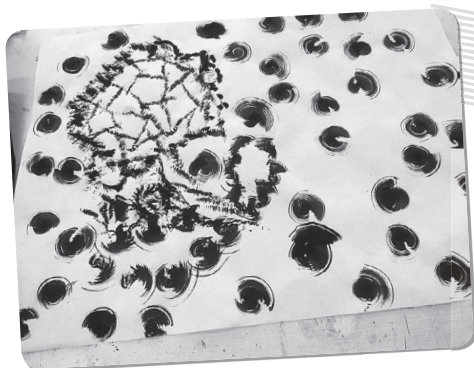
三つの太陽

刷毛を回転させました。



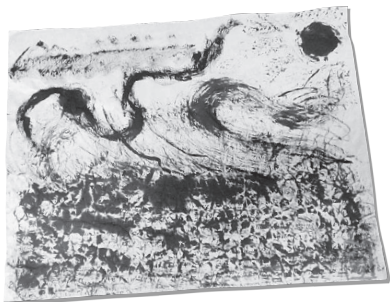
自然の木

段ボール紙



雨の中のアジサイの花

和紙



紙をしわくちやにして川からドラゴンが暴れている様子を表現しました。



ヒマワリのくにへ

段ボールの波をいかして表現しました。



指導のポイント

- ・本題材は段ボール紙（八つ切りサイズ）や和紙（習字用の半紙・水墨画用の和紙・画仙紙）などを使って表現の幅を広げることが大切である。
- ・学習指導材を掲示することで、墨を使って筆の線や刷毛目模様による表現活動の幅が広がり、いろいろな線や模様で表現することができる。
- ・授業の流れの中で、指導者のパフォーマンス（基本的な操作の見本）も入れながら、イメージを広げる操作活動の手掛かりとする。
- ・刷毛目を利用してできる面の模様や軽く刷毛を動かしてできるスタンピングの模様など、用具を活用しながらその効果的な表現に自ら気付けるようにする。
- ・墨ですった墨色の微妙な変化にも気付かせ、墨色の心の世界への表現に生かせるようにする。
- ・自分や友人の作品を見て感じたことを具体的に話し合わせることで、作品のよさをあらためて見直すことができ、墨の表現活動への理解を深めることができる。

ふりかえり 15分

- ・これまでの経験を生かし、使ってみたい材料・用具の方法を考えて表す。

- ・自分の作品に合った作品名を付ける。
- ・自分や友人の作品を見て、墨の美しさや墨の表現のよさを話し合う。

- ・和紙のほかに段ボール紙で表現してみよう。イメージを広げて筆や刷毛を使うといいね。筆や刷毛の動きをよく見て表現してみよう。
- ・いろいろな表し方があるね。経験したことをもとに自分で考えを組み合わせで表現してみよう。

- ・友人の作品を見て、よさや工夫しているところなど、気付いたことについて話し合おう。

6年生
2時間

立体に表す

わたしは、ねんどのマジシャンだ～板状粘土のよさを生かした、造形表現を楽しもう～



材料・用具など

土粘土、どべ、粘土板、たたら板、テグス、ぬれタオル、霧吹き、丸棒、竹串、粘土べら、バケツ（手洗い用）など



評価規準の例

関 板状粘土で表したいことを表すために表現方法を工夫するなど、つくり出す楽しさを味わおうとしている。

想 板状粘土のよさや構成の美しさなどの感じを楽しく構想し、表し方を考えている。

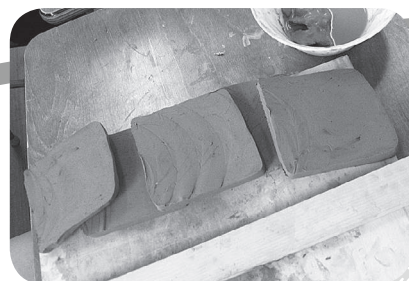
技 構成の美しさや表したいことに合わせて、粘土を切ったりつないだりして、表し方を工夫している。

鑑 自分や友人の作品の表現のよさや表し方の工夫を感じ取ったり、味わったりしている。

わたしはねんどのマジシャンだ！



すーっと切れると、
気持ちがいいね。



何枚もできたよ！



バラの花



守り神



授業の流れ

であい（導入）15分

ひろがり（展開）70分

児童の活動

・粘土の塊と出会い、いろいろな表現を試した後、たたら板を使って板状粘土をつくる方法を知り、つくる。

・粘土のよさを生かし、造形活動を思いのままに楽しむ。

教師の言葉の例

・テグスで切ってみよう。どんな形ができるかな。
・友人と協力して、板状の粘土をつくってみよう。

・どんな形をつくり出せるかな。切ったり、組み合わせたりしながら、板状粘土ならではのよさを生かしていこうね。



題材の目標

材料や用具の特徴を生かして、自分の表し方を工夫し、粘土表現の楽しさを味わう。



指でうす〜く伸ばしていこう。



だんだん楽しくなってきたよ。



闘技場



たいぼく
大木



指導のポイント

- ・「であい」の場面では、「今日はね、みんなは『ねんどのマジシャン』になるよ。手や用具（ここでは、マジシャンになるための『魔法のアイテム』と呼ぶこととする）を使いながら、目の前にある粘土を思いのままにいろんな形に変化させることを楽しもうね」と話しかけると効果的である。
- ・粘土を見たり触ったりしながら、握った時に「むぎゅっ」と手の形になるおもしろさ、指と指との間からはみ出ていく感触、形が変化する楽しさを味わえるようにする。
- ・たたら板とテグスを使い、友人と協力して板状粘土をつくる場面では、最初は二人がペアになり、同じ厚みのものをつくる。
- ・左右のたたら板の枚数を変えて斜めに切ったり、たたら板を使って切り進め、途中で板を外し、そこからは手でテグスを自由に動かして切ったりするなど、手と用具を組み合わせでできる表現のおもしろさも体験できるようにする。
- ・粘土の乾燥を防ぐための方法や、粘土どうしをくっつける際には「どべ」を使うことも助言する。

ふりかえり 5分

- ・これまで体験した粘土による表現の楽しさを思い出しながら、形を変えたり、新たなつくり方を思いついたりして、自分の表したい感じになるようにつくる。
- ・途中で鑑賞する機会を持つ。

- ・自分と友人との作品それぞれのよさや表し方の工夫に気付く。

- ・形ができてきたら、いろいろな方向から見て、どんどん自分の気に入った形にしていこう。
- ・友人の作品を見てひらめいたことがあったら、それも生かしていいんだよ。

- ・友人の作品を見て、工夫しているなあ、おもしろいなあと思ったところはあるかな。
- ・1枚の板状粘土から、いろんなことができましたね。今日の活動をふり返って、友人と話し合おう。

6年生
8時間

鑑賞する・絵に表す

表現にこめた思い ～キッズゲルニカ～



材料・用具など

水彩絵の具一式、ポスターカラー、ゲルニカサイズ（3.5m×7.8m）のキャンバスなど



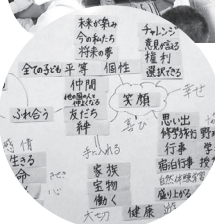
評価規準の例

関 ゲルニカを鑑賞し、形や色、表現されている内容などを味わうとともに、自分たちの『平和への願い』を協力して、絵に表す楽しさを味わおうとしている。

想 『平和』とは何か、またその『願い』について考え、構想し、表し方を考えている。

技 イメージした『平和への願い』に合わせて、表し方を工夫している。

鑑 美術作品の表現の意図や特徴などをとらえ、また、自分たちの『平和への願い』を表したキッズゲルニカを鑑賞し、自分や友人の表現のよさや表し方の工夫を感じ取ったり、味わったりしている。



みんなの意見を
キーワードにして、
アイデアをまとめたよ。



グループに分かれて
構成を考えていこう！

長池キッズゲルニカ ～希望のメッセージ～



授業の流れ

であい（導入）45分

児童の活動

- ・ゲルニカを鑑賞し、ピカソが表したかった思いや意図を考え、話し合う。
- ・『明日の神話』や、これまでに製作されたキッズゲルニカを鑑賞し、平和への願いを込めた絵を表すことに興味を持つ。

教師の言葉の例

- ・ピカソが表したかったことは、どんなことだろう？ゲルニカに描かれた形や色、表現の特徴から気付いたことを話し合おう。
- ・みんなで『平和への願い』を込めて、1枚の絵に表そう！

ひろがり（展開）270分

- ・今の自分たちにとっての『平和』とは何かを考え話し合う。
- ・「学校」「未来」「自然」「成長」「伝統」「世界」など表したい事柄に合わせてグループになり、構想を練る。

- ・『平和』だと感じることは、どんなことかな。
- ・『平和への願い』を込めて、どんなことを絵に表したいかな。
- ・表したいテーマに沿って、グループ別でさらに構想を練ろう。



題材の目標

ゲルニカに込められた思いやメッセージを、作品の形や色、大きさなどから読み取り、学年全員の『平和への願い』を1枚のキッズゲルニカに表す。

みんなで目標を確認！
今日はこんなことを
頑張ろう。



次は思いや願いに合わ
せた着色だ！頑張ろう。



よし、刷毛を使って
塗り方を考えてみよう！



最後は“希望の木”に
私達の手形を描いて完成！



指導のポイント

- ・子どもの興味や活動意欲が続くよう、「であい」の鑑賞では電子黒板を使ったり、製作中は毎時間の振り返りを『キッズゲルニカニュース』として新聞で伝えたりする。
- ・互いにアイデアを出し合って理解を深めることができるよう、活動前後にはグループの目標を決めたり、振り返ったりする場面を大切にします。
- ・グループ活動を進める際にも、子ども一人一人の思いや願いが、形や色で表現できるよう「振り返りカード」などを利用し支援する。
- ・グループで色や構成などのイメージを話し合いながら、一人一人の表現の工夫やよさに気付けるよう交流する。



みんなでよくがんばったね。
どんな作品名がいいかな。

ふりかえり 45分

- ・グループで話し合ったことをもとに、さらに発想をふくらませながらキャンバスに描く。
- ・自分たちの思いに合うよう形や色を工夫しながらグループで協力し活動を進める。

- ・作品名を考える。
- ・『長池キッズゲルニカ』を鑑賞し、自分や友人の表現のよさや表し方の工夫を感じ取ったり、味わったりする。

- ・思いが伝わるように、心を込めて、色づくりや着色をしよう。
- ・目標をもって互いに協力し合おう。友人の頑張りが表現の工夫に気付いたかな。
- ・さらに工夫できることを見つけよう。

- ・自分たちの『平和への願い』が表せる作品名を考えよう。
- ・自分や友人の表現のよさや工夫などを発表しよう。

6年生
8時間

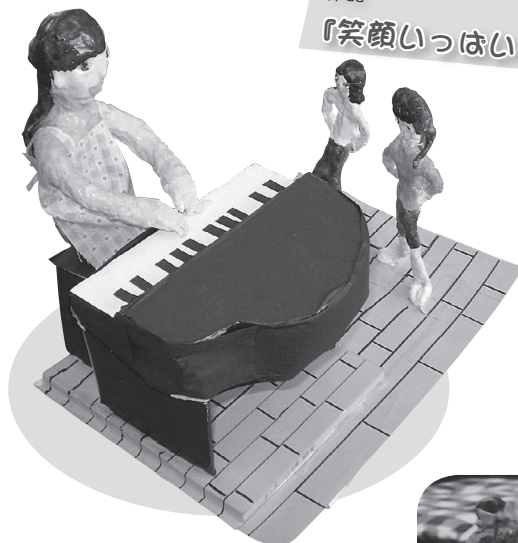
立体に表す

12年後のわたし ～未来のわたしへのメッセージ～



材料・用具など

紙粘土、芯材用スチール針金、ホチキス、土台用板、画用紙、色画用紙、色紙、布、段ボール、紐やテープ類、セロハンテープ、身辺材料、水彩絵の具一式、パス、水性ニス、ペンチ、金づち、四つ目ぎり、はけ、粘土べら、竹ぐし、はさみ、のり、接着剤、カッターナイフ、カッターマットなど



作品

『笑顔いっぱい保育士』



ピアノは、段ボールでつくろう！



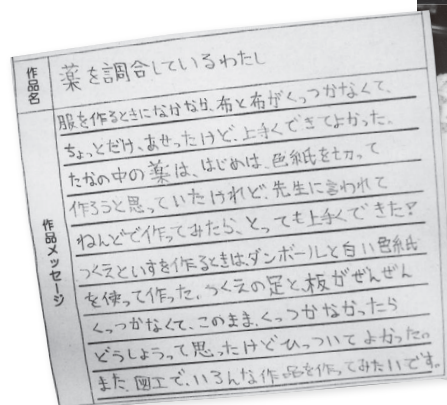
評価規準の例

関 「12年後のわたし」に関心を持ち、楽しんで取り組もうとしている。

想 想像力を働かせて「12年後のわたし」を発想し、その様子を表すために形や色、材料の使い方を考えている。

技 表現に適した方法を組み合わせたり、材料や用具の特徴を生かしたりして表そうとしている。

鑑 自分たちの作品について話し合い、互いの表現のよさや意図、工夫などをとらえようとしている。



授業の流れ

であい（導入）30分

ひろがり（展開）270分

児童の活動

- ・表現したい「12年後のわたし」について話し合い、材料や表し方を考えて、ワークシートに書く。

- ・紙粘土やいろいろな材料を生かして、自分や背景を製作する。

教師の言葉の例

- ・12年後、どんなことに夢中になっているかな。「〇〇している真っ最中の自分」を想像してみよう。
- ・表現したいポーズは、芯材で体の動きを試しながら決めていいよ。

- ・人物像ができたなら、どんなポーズが自分の「12年後のわたし」をいちばんいきいきと表現できるか、いろいろな動きを試して、動きを決めよう。

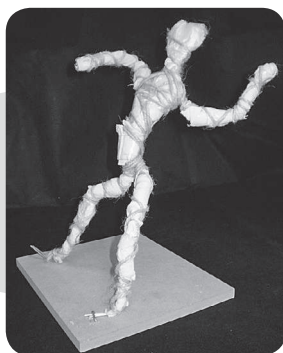


題材の目標

思いに合った材料を選んで、材料の特徴や組み合わせを考え、これまでの経験や技能を総合的に生かして、「12年後のわたし」を表現する。



「12年後のわたし」
を想像してみよう



作品

『薬を調合している
わたし』



作品

『楽しく介護を
しているわたし』



指導のポイント

- ・「であい」でワークシートを書く時、イメージしにくい子どもには、「どんなことをしている自分が好き？」と聞くなど、イメージがわくような対話をする。
- ・芯材と布でつくった人物像の学習指導材を用意し、身体の動きを試しながら、表現したいポーズを決めるようにする。
- ・表したいものに合わせて、材料、表し方、製作手順など、構想したことをワークシートに書く（前もって、自分の表現に合いそうな身近な材料を自分で集めるように促すとスムーズに活動できる）。
- ・芯材の骨組みをつくって土台に固定し、薄めた木工ボンドで固め、紙粘土で肉付けをして人間をつくる。その後、背景をつくるという手順を考えて、つくることができるようにする。
- ・いろいろな材料で周りの背景や小物類をつくることを伝え、工夫できるように材料用具コーナーを設置する。
- ・製作途中で鑑賞する時間も設ける。
- ・指導者は、子ども一人一人のワークシートを参考に、製作時の助言、材料の準備を行う。

ふりかえり 60分

・背景は、学習指導材を参考に製作する。

・「12年後のわたし」について作品名とメッセージを書き、鑑賞する。

・背景をつくる時は、資料を参考にしていよいよ。
・材料・道具から自分の表したいものに合うものを自分で考えて、選んで使おう。

・自分の「12年後のわたし」を友人に伝えるメッセージを書こう。
・友人の作品の表現のよさや工夫を見つけ、話し合おう。

6年生
6時間

絵に表す

マイ・ランドセル，ありがとう！



材料・用具など

水彩絵の具一式，画用紙，段ボール紙，はさみ，接着剤，装飾材，サインペンなど



評価規準の例

関 愛用しているランドセルへの気持ちが伝わるようにして，絵に表す活動を楽しもうとしている。

想 ランドセルの形や色から表し方を考えたり，額に飾りたい場所や飾り方を思い付いたりしている。

技 表したいことに合わせて，描き方や材料の使い方を工夫している。

鑑 感じたことや思ったことを友人と話し合い，作品の表し方のよさを感じ取っている。

絵で表す

左ななめからかいたよ。色づくり，表し方を工夫しよう



額縁をつけて飾る



あまった段ボール紙を切って組み合わせてみよう



授業の流れ

であい（導入） 20分

ひろがり（展開） 225分

児童の活動

・ランドセルについて話し合い，絵に表すことに意欲を持つ。

・形や色を考えて，サインペンや水彩絵の具を用いて絵に表す。

教師の言葉の例

・「ありがとう」の気持ちを絵で表し，最後に額縁も工夫しながらつくろう。
・ランドセルへのメッセージをノートに書いておこう。

・ランドセルをかく時は，見る角度を考えて決め，かいていこう。色の表し方も工夫してみよう。



題材の目標

いつも使っているランドセルを見つめ直し、自分らしい視点や感じ方を大切にしながら絵に表す。



指導のポイント

- ・6年間使い続けているランドセルにはいろいろな思い出があり、愛着も持っている。そんなランドセルを改めて見つめて、自分の思いを重ねながら画面構成をする。
- ・写实的表現（線描・色使い）と想像あふれる表現（飾る方法・メッセージ書き）が子どもの視点や感じ方で融合され、一人一人の自分らしさが表現に生まれる。いろいろな表現方法を工夫し、自分の表し方を見つけるようにする。
- ・飾り方は、例えば残った段ボール紙を使い、身近にあるいろいろな材料を活用するように支援する。
- ・描き始めたランドセル、作り始めた額縁は教室の壁などに立てかけ並べておくことでいつでも交流できるようにする。子どもたちは、友人のよいところやアイデアを取り入れ、自分の表現を広げていくことができる。
- ・メッセージを添えた作品が、6年間の小学校生活を振り返るコミュニケーションのきっかけや場になる力を持つのも、この題材の魅力である。

ランドセルには6年間の思い出がいっぱい



これ がらもよろしく



メッセージを添えて



ふりかえり 25分

- ・細長く切った段ボール紙を組み合わせて、額縁をつくる。着色したり装飾材を貼ったりするなどして、自分のつくりたいイメージに合うように飾る。

- ・作品に「ありがとう」のメッセージを添える。
- ・作品を見合って、互いのよさを話し合う。

- ・額縁にランドセルを置きながらイメージを確かめ、自分らしい感じ方を大切にして装飾しよう。

- ・自分の作品や友人の作品を見て、よさを生かした表現を探してみよう。

第1 目標

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

第2 各学年の目標及び内容

〔第1学年及び第2学年〕

1 目標

- (1) 進んで表したり見たりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 造形活動を楽しむ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。
- (3) 身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにする。

2 内容

A 表現

- (1) 材料を基に造形遊びをする活動を通して、次の事項を指導する。
 - ア 身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付いてつくること。
 - イ 感覚や気持ちを生かしながら楽しくつくること。
 - ウ 並べたり、つないだり、積んだりするなど体全体を働かせてつくること。
- (2) 感じたことや想像したことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。
 - ア 感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表すこと。
 - イ 好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと。
 - ウ 身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使うとともに、表し方を考えて表すこと。

B 鑑賞

- (1) 身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。
 - ア 自分たちの作品や身近な材料などを楽しく見ること。
 - イ 感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。

〔共通事項〕

- (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。
 - ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。
 - イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

〔第3学年及び第4学年〕

1 目標

- (1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。
- (3) 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。

2 内容

A 表現

- (1) 材料や場所などを基に造形遊びをする活動を通して、次の事項を指導する。
 - ア 身近な材料や場所などを基に発想してつくること。
 - イ 新しい形をつくるとともに、その形から発想したりみんなで話し合ったり考えたりしながらつくること。
 - ウ 前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどしてつくること。
- (2) 感じたこと、想像したこと、見たことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。
 - ア 感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けて表すこと。

イ 表したいことや用途などを考えながら、形や色、材料などを生かし、計画を立てるなどして表すこと。

ウ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表し方を考えて表すこと。

B 鑑賞

- (1) 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。
 - ア 自分たちの作品や身近な美術作品や製作の過程などを鑑賞して、よさや面白さを感じ取ること。
 - イ 感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、いろいろな表し方や材料による感じの違いなどが分かること。

〔共通事項〕

- (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。
 - ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。
 - イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

〔第5学年及び第6学年〕

1 目標

- (1) 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。
- (3) 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にするようにする。

2 内容

A 表現

- (1) 材料や場所などの特徴を基に造形遊びをする活動を通して、次の事項を指導する。
 - ア 材料や場所などの特徴を基に発想し想像力を働かせてつくること。
 - イ 材料や場所などに進んでかわり合い、それらを基に構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながらつくること。
 - ウ 前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしてつくること。
- (2) 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。
 - ア 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けて表すこと。
 - イ 形や色、材料の特徴や構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、表し方を構想して表すこと。
 - ウ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表現に適した方法などを組み合わせて表すこと。

B 鑑賞

- (1) 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。
 - ア 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じ取ること。
 - イ 感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえること。

〔共通事項〕

- (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。
 - ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。
 - イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

第3 指導計画の作成と内容の取扱い（以下略）

日 文 の < 図 画 工 作 > 書 籍 シ リ ー ズ

発売中



楽しい図画工作 授業の作り方

低学年編・中学年編・高学年編

編著 福本謹一／山田芳明

[低] 定価 2,100円 (本体2,000円+税5%)

B5判 112頁 ISBN978-4-536-60050-7

[中] 定価 2,100円 (本体2,000円+税5%)

B5判 120頁 ISBN978-4-536-60051-4

[高] 定価 2,100円 (本体2,000円+税5%)

B5判 144頁 ISBN978-4-536-60052-1

発売中



造形教育の 教材と授業づくり

編著 辻泰秀

定価 2,100円 (本体2,000円+税5%)

B5判 232頁 ISBN978-4-536-60056-9

増刷



アートフル 図工の授業 子どもをひらく題材ノート

著 内野務／中村隆介

定価 2,625円 (本体2,500円+税5%)

A4判 112頁 ISBN978-4-536-60047-7

発売中



私がつくる図画工作科の授業 ふざろいな 学習指導案

編著 岩崎由紀夫／阿部宏行

定価 2,100円 (本体2,000円+税5%)

B5判 130頁 ISBN978-4-536-60042-2

好評
発売中

国宝や名品、名画の数々を電子黒板で。



提示型デジタル教材

む美術

日本美術 名品コレクション 編

教科書や資料集に掲載されている、東京国立博物館をはじめとした国宝や重文など300点収録。

西洋美術 フランス国立美術館連合 編

教科書に掲載されている、ルーヴルやオルセーなど、フランスの美術館が誇る名画を300点収録。

■各編 (校内フリーライセンス用)

価格**63,000**円 (本体60,000円+税5%)

■2編セット (校内フリーライセンス用) ※セットにてご注文の場合

価格**105,000**円 (本体100,000円+税5%)

■収録作品・作家リストはWebで!

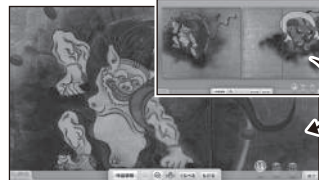
みる美術

検索

■おもな機能

拡大

高精細デジタル画像で
細部まで美しい!



比較

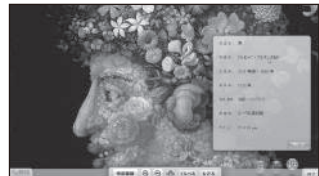
作品を並べて配置し、
新たな発見ができる!



作品情報

指導に役立つ!

(作品解説PDFデータも添付)



比較のくふう

▶作品の
大きさを比較



◀別アングル
を同時に鑑賞
(一部作品)

マイコレクション

児童・生徒作品の画像を登録でき、拡大、
比較機能などもご使用いただけます。

この他にも、ブックマークなど便利な機能が
搭載されています。

■Facebookページ

<http://www.facebook.com/mirubijutsu>



書籍は、書店、ブックサービスでお求めください。

ソフトウェアは、お近くの学校出入りの販売代理店でお求めください。

※商品のお問い合わせは、お手数ですが、裏面所在地より小社大阪本社業務部へお願い致します。



えんこと★いっばい

日文教育資料〔図画工作・美術〕

平成26年(2014年)2月20日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社

〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5

TEL: 06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33221

日本文教出版 株式会社
<http://www.nichibun-g.co.jp/>

大 阪 本 社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
 TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東 京 本 社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
 TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九 州 支 社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
 TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東 海 支 社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B
 TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
 TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690